

令和3年度とちぎ6次産業化実践セミナー  
第6回講座実施状況について

【日 程】 令和4(2022)年1月14日(金)、午後

【会 場】 とちぎアグリプラザ

【参加者】 13名

【テーマ、講師、講義概要】

＜オンライン商談会&FCPの活用方策＞

栃木6次産業化実践アドバイザー、6次産業化中央プランナー

信州6次産業化プランナー 生稲芳高 氏

FCP(フードコミュニケーションプロジェクト)とは、フードチェーン全体での「食」の信頼確保の取組で、FCPシートは、「見える化」して「伝える」ツールである。

これは、バイヤーとのファーストコンタクトに最適で、商品の履歴書として商談会など多様な場面で使える。作成することで自社の強み・弱みを整理でき今後の方向性を検討できる。

商品名、味、価格に加え、誰に売りたいか、どこで売りたいか、性別・年代層の具体的な記載。減塩、減化学調味料等の表示。商品開発のエピソードやストーリーの紹介も必要。

商品写真は、画像は明るく、写真枠一杯に貼り付ける。また、調理例等の写真の活用や商品表示ラベルの内容が良く見えるように工夫して撮影する。

自社商品を最大にアピールすると共に、商品力の高さと生産に対する熱意を伝えることが重要である。

商談会におけるバイヤーからの改善要望点は、価格、パッケージ、物流経費、原材料、供給量、商品サイズなどの順に多いことも念頭に作成すると良い。



＜6次産業化に係る支援制度＞

栃木県農政部農政課 技師 岡田和子 氏

栃木県では、農業の高付加価値化や農村地域の活性化に向け、農業者が、農業生産に加え、加工部門や販売部門と連携して取り組む「6次産業化」を推進している。

6次産業化に係る相談について、栃木6次産業化サポートセンターの実践アドバイザー派遣や推進員によるアドバイス等を行うとともに、関係機関等と連携した支援を実施している。

準備・開発・実践・発展段階で必要な支援内容に応じた窓口相談してほしい。

